



ホームページ「旭第1団」で検索

第 80 号

ボーイスカウト
旭 第 1 団



上進式・団集会: R7年4月、干潟公民館
旭市長らを来賓の前で三塚団委員長から
隊旗を受ける来栖カブ隊長



B-P 祭: R7年2月、海上公民館
現役スカウト、OB・OG、保護者、指導者で編成
幅の広い年齢層でも息はピッタリの鼓隊演奏



団行事: R7年 11 月、海上キャンプ場
対抗ゲームの前に、ビーバーとカブスカウトが
本結びを練習中



ユニセフ募金: R7年 12 月、季楽里あさひ
寒いなか二手に分かれ、元気な声で募金活動
行きかう多くの来場者の募金を受けました



「スカウトの日」: R7年8月、袋公園
みんなで袋公園のゴミ集め。目立たない隅々
まできれいになりました



旭市海岸減災林植樹祭: R7年4月、飯岡海岸
「旭市復興計画」の重点プロジェクトとして、クロ
マツやタブノキ、トベラなど 3,000 本を植樹

ベンチャー隊

ベンチャー章取得への長い道のり

S N

令和 6 年 4 月 7 日にベンチャー隊へ上進してからベンチャー章を手にするまでの長くて険しい道のりについて報告書を見ながら書いていきます。

ボーイ隊では初級スカウトだったので、上進後には制服の左胸に「アドベンチャーバッジ」を着けて四つのベンチャー章課題に取り組みました。

課題の「1 基本」では、令和 7 年 10 月 18 日の集会で次のように考えを発表しました。

「ちかい」と「おきて」の実践は特別なこと、あらたまったことではなく、何気ない日常の中にある。すべての始まりは感謝のこころである。今、生きていることに感謝。生まれたことに感謝。何もない日常に感謝。奉仕できることに感謝。

「日日の善行」は毎年、やすらぎ園納涼祭にて縁日屋台の手伝い、町内の側溝掃除・ゴミ拾い行事に参加している。電車を利用する際には駅や車内で困っている人がいないか見回している。としました。

「2 スカウト技能」の企画書は、月の輪集会に参加して、初級章課目の履修を目指すカブスカウトの手助けをする内容で令和 7 年 11 月 22 日に提出しました。

技能章のうち「読図章」は令和 6 年 11 月 16 日に、「公民章」は令和 7 年 8 月 23 日に審査を受け、取得しました。

「3 スカウト精神」では、『スカウティング・フォア・ボーイズ』のキャンプファイア物語 21、22 および 26 を読んでの感想は令和 7 年 10 月 19 日のベンチャー隊集会で、ちかいとおきてを実践し、名誉を重んじ信用を大切にすること、むしろかしいほどやりとげるのはおもしろいこと、国のためを思い、自分の勉強が他の人の将来に役立つこと、自分が向上することは国に対する義務であることなどを話し合いました。

「4 信仰」では、信仰奨励章を令和 7 年 9 月 21 日に申請し、10 月 22 日に取得できました。

B・P 卿のラストメッセージにある「幸せな生涯」「健康で強い体」「ほかの人に幸福を分け与える」などの言葉は親鸞聖人の言葉「お釈迦さまが説かれた絶対の幸福」と同じように感じたことを話し合いました。

以上のように、ベンチャー章課題をすべて修了したことが令和 7 年 11 月 22 日のベンチャー会議で確認されました。

そして、12 月 7 日に団面接を受け、同日中にベンチャー章を受章することができました。

スカウトオウンの参加実績と役割では、以前のことを思い出せず、大変な時間がかかってしまいました。

そして、ベンチャー章の団面接では聞かれたことに要領よく、はっきりと答えられました。

隊長からは「記憶」と「記録」について何度も何度も聞かされていました。「記憶」は曖昧で次第に薄れ、忘れ去られるもの、「記録」は長く残るものだそうです。

およそ 1 年と 9 か月間で苦労の末に手にしたベンチャー章ですが、日頃のスカウト活動中に記録を付ける習慣があれば、もつと短期間でスマートに取得できたのにと反省しています。

スカウトハンドブックによれば「ベンチャースカウトは自ら考えて行動することを基本とし、積極的に活動へ参加し、自身とグループの成長のため、適切な評価と責任を果たすことができる」ことになっています。

入団以来、ビーバー隊・カブ隊・ボーイ隊・ベンチャー隊と多くの人たちに助けられていたことを思い出しています。

今後は、「ベンチャー章」を着けた一人前のベンチャースカウトとして活動していきたいです。

ボーイ隊

ボーイ隊に上進して

M H

今年 4 月からボーイ隊になって、次の隊集会、5 月は南房総市富山のトレッキングをしました。

山登りの途中で、とても怖くなり動けなくて時間がかかり、帰る時間が遅れてしまいました。

8 月夏のキャンプは福島南会津に行き、3 泊しました、川へ魚釣りにいたけど魚は釣れず夕食は魚の缶詰めを食べました。魚が釣れなくてとても悔しかったです。いつか魚を釣って、焼いて食べてみたい。

11 月は地区くまキャンプの手伝いをボーイ隊でしました。年は 1 人でくまキャンプをしたけど、今年のはほかの団のくまスカウトが集まってとてもうらやましいと思いました。

ボーイ隊はカブとは違って、ちょっと難しいけれど、頑張りたいです。

2025 年の夏季キャンプ

N A

今年の活動で一番印象に残ったのは福島南会津にある久川ふれあいキャンプ場のキャンプです。

久川の山や川がとても綺麗で、千葉に比べて標高が高く朝夕の気温が低く夏にもかかわらず肌寒く感じました。

目的の一つに「釣った魚を食べる」ところがありました、一匹もつれずとても残念でした。

今回のキャンプから班のスカウト二人のキャンプになり、食事の準備やテント立ての指示や分担が難しかったですが、協力して無事進める事が出来ました、この事を今後の活動に活かしていきたいです。



富山トレッキング

活動年月	7 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
内 容 (場 所)	桜餅づくり体験 (房総のむら印旛郡栄町)	B・P 祭 (海上公民館)	郷土の歴史ハイキング (飛行場跡・鎌数伊勢神宮)	コンパス (旭文化の杜公園)	富山トレッキング (南房総市・南総里見八犬伝)	プラネタリウム・大賀ハス (千葉市科学館・千葉公園)	パトロールキャンプ (海上キャンプ場)	満天の星空キャンプ (福島県南会津)	環境プログラム (袋公園)	結索法 立ちかま作り (海上キャンプ場)	地区キャンプ (海上キャンプ場)	ハイキング (海上運動公園 ↓ 旭市役所)



夏季キャンプ
(久川ふれあいキャンプ場)

カ
ブ
隊

「くまキャンプ」

くま K R

ぼくは、11月2日から3日にくまスカウトだけが集まるキャンプに行きました。このキャンプは、匝瑳市、旭市、香取市、銚子市のボーイスカウトで行われました。最初のころは友達のY・Hくんが泊まらないと聞いて、少しソワソワしていました。だけど、ほかの地区のみんなが気さくに話しかけてくれました。非常にかかわりやすく、少し安心しました。

特に楽しかったことはゲームです。泊まって2日目に全員でロープゲームをしました。ぼくはロープワークが苦手で、練習直前まで八の字結びしかできませんでした。しかし、友達がぼくの練習に根気よくつき合ってくれて、全てできるようになり、ゲームが始まりました。

最初のレースは見事にわがチームが1位をかく得しました。しかし、2レース目は2位になってしまいました!! (チームは3チーム)

最後のゲームは全員でいっせいに同じものを出すじゃんけんをします。ぼくがしきって出すことにしたのはチョキです。



海上キャンプ場
まじめに、しっかり基本動作の話を聞くカブスカウト達

そして運命の別れ道、相手チームが出したのは・・・パーでした!

こうしてチームはゆう勝したのです! ぼくはロープワークを手伝ってくれた友達に「ありがとう」と伝えたいです。

カブホリデーとくまキャンプ

くま H Y

ぼくが一番印象に残ったのは、カブホリデーで南房総市に行ったことです。旭駅から4時間位かけて、電車とバスで行きました。大房岬自然の家に着いたときは、ほっとしました。

楽しかったことは、みんなで協力して仙人の玉を集めることと、海で遊んだことです。仙人の玉は漢字が一字ずつ書いてあって、全部集めると、宝がもらえます。海では水色と緑と茶色と白色のシィガラスと、仙人の玉を見つけたことが出

来ました。暑かったけど、みんなで過ごした楽しい思い出になりました。

次に印象に残っているのは、くまキャンプです。僕たち旭第1団だけでなく、銚子市と匝瑳市と香取市のくまスカウトが集まってキャンプをしました。テントをたて、キャンプファイヤーをして、みんなと仲良くなれてうれしかったです。

いそ遊び

しか K A

ぼくが、一番楽しかったことは、2泊3日のカブホリデーで行った大ぶさみさきです。海はきれいで、大きな岩がたくさんありました。シーグラスもたくさん落ちていて、みんなで拾ったのが、楽しかったです。

カニや小魚もつかまえました。弟がくらげにさされてしまい、心配になりましたが、隊長がムヒをぬるといいと教えてくれました。またみんなで行きたいです。

楽しかったブルーシート

しか I S

今日、キャンプのよていだっただけで隊長のつごうで中止になった。だから、ブルーシートのテントと、ごはんを作った。ブルーシートのテントは竹でほねぐみを作った。そして、その上からブルーシートをかぶせた。とてもりっぱだった。

次はみんなでごはんを作った。ごはんは、とんじるとサラダとごはんだった。とてもおいしかった。

テントに泊まって楽しかった

しか M Y

6月21、22日は、テントをたててカブのみんなで遊んだり、料理をして、ごはんを食べました。ごはんはおいしくて、料理は大変だったけど、お母さんは、こんな大変なことをしているんだな、と実感しました。

テントは、二つたてましたが、たてるのはとても大変でした。

遊びは、鬼ごっこをして遊びました。

22日は、テントをかたづけ、朝ごはんを食べたりハイキングをしました。

朝ごはんは、ホットドックで、牛乳パックを使い、あたためました。

ハイキングはトンネルがすべりやすく、でも、自ぜんや歴史のあるところでした。

テントのかたづけは大変でした。

テントの泊まりは大変だったりしましたが、とても楽しかったです。

「たんけん」

うさぎ I Y

わたしは、たんけんをした後に、ぼうさい地図を作ったことが楽しかったです。

公園からあさひ駅までさんぽして、あ

ぶないところを探したのが夏で、暑くて大変だったけど、紙に地図を書いたり、色をぬったりしたのが一番楽しかったです。

カブスカウトを通じての成長

K M (保護者)

今年はカブスカウトとして過ごす最後の一年となり、息子の成長を感じる場面がいくつもありました。

活動年月	内 容 (場 所)
7 年 1 月	餅つき/ウッドカーの製作 (海上キャンプ場)
2 月	B・P 祭/ウッドカーの発表 (海上公民館)
3 月	ウッドカー地区予選 (海上キャンプ場体育館)
4 月	キーキ作り (ひがた市民センター)
5 月	基本動作/ロープワーク (海上キャンプ場)
6 月	追跡ハイキング (東庄民の森)
7 月	一泊キャンプ (海上キャンプ場)
8 月	防災地図作り (旭市中央児童公園、旭市内)
9 月	カブホリデー (大房岬少年自然の家)
10 月	スカウトの日/清掃活動 (旭市袋公園)
11 月	ブルーシートでテント作り (海上キャンプ場)
12 月	デイキャンプ/団行事 (海上キャンプ場)
	ユニセフ募金 (道の駅 季楽里あさひ)

火おこしや野菜切り、食器の片付け等、二年前にはおぼつかず本人も不安な様子がありました。今では進んで取り組みることができるようになり、自信をもつようになりました。キャンプでの宿泊を幾度となく重ね、自分で荷物の準備や片付けを行い、それが学校の行事や家庭での余暇活動にも生かされています。

ゲームやフィールド活動では、たくさんの友達と関わり、自分のことだけでなく周囲と協力することの大切さを学ぶことができたと思います。毎回のカブスカウトの活動の後には、自然と笑みがこぼれ、活動への達成感や充実感を得ていたと感じています。

昨今、人との関わりや自然との触れ合いが希薄になり、自分が過ごしていた子ども時代とは大きく変化しています。スカウトの活動は、人や自然との関わりの中で、生きていくために大切で必要なことをたくさん学ぶことができます。子ども時代にスカウト活動に参加することができた息子は、かけがえのない貴重な体験を得ることができました。関わっていただいた皆様に感謝すると共に、学んだことを息子がこれからの成長につなげていくことを期待しています。

ビーバー隊

たのしかったビーバーラリー

○ K

ぼくが一番たのしかったのは、ビーバーラリーのビーバーダム作りです。理由は、工作が大すきだからです。ダンボールをガムテープではって、あんなに大きなダムができるとはおもいませんでした。ぼくがダムで一番気に入ったところは、入り口のトンネルです。くぐるたびにわくわくしました。ダムからのつりもたのしかったです。すぐにこわしてしまつてさんねんですがまた作りたいです。



ビーバーラリー
魚つりゲーム:ビーバーダム
から池に放流された魚を釣り
上げる設定

おはなをこすった

K Y

5月にしょくぶつかんきつをしました。おはなをかみにこすったら、かみにいろがつきました。おはなのいろがきれいでした。みもこすりました。みがかたくてこするのがちょっとむずかしかったです。

はじめてのザリガニつり

I A

ぼくは、はじめてザリガニつりをしました。スルメでザリガニがつかまえられることも知りませんでした。池の中にとをゆつくり入れると、赤いザリガニが近づいてきてつることができました。はじめて自分の力でつれたので、とてもうれしかったです。

こんどはもっと大きいザリガニをつりたいです。

ザリガニつりをやった

T R

ぼくは、きょう年ビーバーたいでザリガニつりをしました。雨がふってたので、にせもののザリガニをつりました。今年は、晴れてたので外のいけでほんもののザリガニがつれました。たくさんつれて楽しかったです。またやりたいです。

ざりがにつり

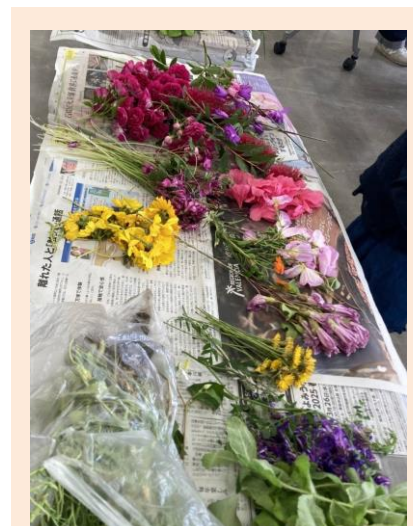
K H

6月にざりがにつりをしました。はじめはなかなかつれなかったけど、やつとつれたざりがにはからだがあかかったです。はさみもありました。アメリカざりがには、かうときのやくそくがあることをはじめてきました。びっくりしました。ざりがにつりはたのしかったです。

たのしかったザリガニつり

H M

ビーバーたいのかつどうで、わたしが一ばんたのしかったことはザリガニつりです。はじめてだったので、ちょっとこわいなとおもったけれど、エサをつけたひもを、そつと水にいれると、ザリガニがゆ



お花をこすった



浮沈子(ふちんし)作り
ペットボトルの側面を押すと
加圧で沈み、離すと浮上

つくりちかづいてきて、とてもどきどき
しました。みんな、きょうそうみたい
に、とてもたのしかったです。
これからもビーバーたいでいろんなこ
とに、たのしくチャレンジしたいです。む
ずかしくてもがんばって、なんでもでき
るようになりたいです。よろしくおねが
いします。

おもしろかったかつどう

I R

ふちんしがうかんたり、しずんだりし
たのは、上のたい長のまほうじやない
と思いました。あつ力のべん強はじめて
聞きました。水でつぼうでぬれたけど、夏
だったし、楽しかったです。こんどは、も
くざいで何か作りたいです。

元気にあそびました

11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	7年 1月	6年 12月	活動年月
団行事(海上キャンプ場)	スポーツフェスティバル(スポーツの森公園)	スカウトの日(袋公園)	植物観察・ランタン作り(飯高檀林)	ふちんし作り・水でつぼう(東庄民の森)	ザリガニ釣り・すいか割り(橋ふれあい公園)	植物観察・スケッチ(海上公民館)	減災林植樹(飯岡海岸)	上進式・団集会(海上公民館ホール)	ビーバーラリー・ビーバードム作り(海上キャンプ場体育館)	B・P祭:クイズ発表(海上公民館ホール)	サンタの駅 季楽里あさひ(海上公民館)	ユニセフ募金(道の駅 季楽里あさひ)
										トントンかみずもう(市民会館)		内容(場所)



ザリガニ釣り
アメリカザリガニは条件付特定
外来生物。持ち帰りは禁止

活動をふり返って

I Y (保護者)

ビーバー隊の活動では子供同士で関わる機会が多く、友達と一緒に考えたり、助け合ったり、順番を守ったりする中で、協調性や思いやりの心が育つてきたと感じます。みんなで一つの目標に向かって取り組む活動や、自然の中でのびのび遊ぶ時間を通じて、子供たちが自分なりに考え、挑戦する姿を見ることが多くなり、親としても、その成長をそばで感じられるのは大きな喜びです。

そして何より、隊長をはじめとする皆さんが、子供たち一人ひとりに丁寧に関わり、安心出来る環境で活動できるように配慮くださっていることに深く感謝しております。安全面への配慮はもちろん、子供たちの気持ちに寄り添った楽しいプログラムを毎回工夫して頂いているおかげで、子供たちにとってビーバー隊が大好きな場所になっていると思います。今後とも宜しくお願いいたします。

パパの子供時代の思い出

I M (保護者)

私が子供の頃は、今のようにゲームやスマートフォンが身近になかったため、外で遊ぶことが中心でした。特に記憶に残っているのは、兄弟・近所の友達と暗く

なるまで近くの公園で走り回っていたこととです。夏になると、みんなで近くの水路や山に行き、ザリガニ釣りや虫取りをするのが定番でした。

今では忙しい毎日ですが、ボーイスカウトに参加するとあの頃の思い出が蘇り、わくわくする時があります。小さい時の遊びは今でも私にとって貴重な経験になっています。

子供達にも、もっとたくさんの経験をしてみたい大人になってももらいたいです。

スカウト活動に期待すること

H T (保護者)

娘がスカウト活動に参加するにあたり、父親として期待するのは、学校生活では体験できないようなことを、仲間と協力しながら乗り越え、達成する経験をして欲しいということです。その過程ではうまくいかないことや意見の食い違いなど、さまざまな場面に直面すると思いますが、相手を思いやる気持ちや感謝の心を学んでくれることを期待しています。さらに、その先にある人とのつながりを楽しみ、協力する喜びを感じて欲しいです。自然の中で、仲間との時間を心から楽しんでくれることを願っています。

娘が笑顔で活動を振り返り、「今日はこんなことができたよ。」と誇らしげに話し

てくれる姿を見られるのを楽しみに、温かく見守っていききたいと思います。

ビーバー隊活動に参加して

T K (保護者)

活動に参加し始めて、あつという間に2年がたちました。息子が初めて参加したのは3月でした。海上中の近くを共に探索したのがつい先日の様に思います。

団体行動が出来るのか、知らない皆さんと一緒にやって行けるのか、子供なりに不安だったでしょうが、親も不安だったのを思い出します。

入隊して、友人と楽しそうに活動している姿を見ると、成長していることを感じるものが出来ました。

7月の東庄県民の森での活動では、大きな芝生の広場で子供達と水鉄砲やら水風船で遊びました。いい思い出になりました。旭1団の皆様、ありがとうございます。

ボーイスカウトに参加して

O S (保護者)

昨年息子がビーバー隊に入隊し、父親としていくつかの活動に参加させていたできました。隊長・指導者の皆様をはじめ、地域の仲間とともに学び、成長していく姿を間近で見ることができ、大変嬉しく感じております。

自然の中で体を動かす経験や仲間との関わりを通して、自信や社会性が育まれていると感じました。息子にとってビーバー隊は「楽しい場所」でありながら、「社会の一員としての学びの場」でもあると感じています。仲間と協力すること、自然を大切にすること、自分の役割を果たすこと、こうした経験は、家庭だけでは得られない貴重なものです。

今後とも一緒に活動に参加しながら、子供たちの活動を応援していきたいと思っています。



多くの保護者が参加した
「スカウトの日」

編集委員

ベンチャー隊長	吉田 俊郎
ボーイ隊副長	古作 仁
ビーバー隊副長	大門 弥生
団 委 員	鈴木 智子